

まちづくり市民ワークショップ《第2回分野別「文化」「安心」》 ニュース

日時：平成 28 年 12 月 22 日(木)19:30～21:30

場所：加東市社公民館 2 階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 ワークショップ
「文化」「安心」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 閉会



当日の会場の様子

第2回分野別「文化」「安心」のワークショップには、10人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第2回分野別「文化」「安心」のワークショップの内容

- ワークショップ方式で、第1回で検討した加東市の「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」を踏まえた分野別の将来像を考えいただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報共有（交換）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次の全体ワークショップにおいて発表していただき、分野間で共有し、意見交換をしていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「文化」「安心」分野における将来像を、KJ法という手法を用いて整理していきました。
- まずは、参加者全員が分野別将来像を付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- テーマは「文化」「安心」ですが、その枠にとらわれず、幅広く加東市の将来像を出していただき



ました。

- これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、
タイトル付けをすることにより、グループで話し
合った将来像を整理しました。
- さらに、将来像を実現するために、市民ができる
ことを付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みなが
ら、意見交換（共有）をしました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグ
ループに話し合った結果を報告し、意見交換（共
有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表（「文化」「安心」分野における加東市の将来像と市民ができること）

A グループ

「文化」等の将来像と市民ができること

【伝統】

<将来像>

- 変わらないことに価値を見出すまち
- 古い伝統を継承し、後世に引き継ぐ

【コミュニティ】

<将来像>

- 地域の公民館に沢山人が集まって交流
- 人の和が保てるまち
- 人が門に出てるまち
- 市街化調整区域をなくし、市街化区域が無指定にして、人口増加を推進する
- 「せんとぶり」の聞こえるまち
- 子どもと話ができるまち
- 子どもから高齢者まで、色んな世代が一緒になってしている行事が多いまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 人の集まりに出かける
- 人と話をする
- 散歩を生活習慣にする
- 見守り活動に参加する
- 近隣の声かけをしていく
- 地域やとなりの方との繋がりを持つ
- 昔の遊び、伝統を高齢者が子ども達に教える

【子ども】

<将来像>

- 教育関係が充実して欲しい、将来の発展の為に！
- 通学がしやすいように学校のあり方を考えて欲しい
- 将来の為、子ども達の育成に力を入れるまち
- 子どもが安心して暮らせるまちになって欲しい（通学・防犯など）
- 2世帯、3世帯が一緒に住めるまち

「文化」等の将来像と市民ができること

【交通】

<将来像>

- 交通の便利な住みやすいまち
- 誰もが安心して買い物・通院など行きたい所に行ける
- JR・神戸電鉄を市の中心に線路を延長し、市民の足にしていく

<市民ができること、やるべきこと>

- 神姫バスやコミバスを利用する

【自然】

<将来像>

- 自然が多いまちに（自然破壊しない）
- 太陽光発電のないまち 自然景観が美しいまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 協力して草花を植えていく

【スポーツ】

<将来像>

- スポーツができる環境に力を入れ健康維持する
- ゴルフが、子ども・高齢者に安くできる身近なまち
- フルマラソンが開催できる市にし、スポーツレクリエーションを充実していきたい

<市民ができること、やるべきこと>

- スポーツに参加できる行事を考える

「安心」等の将来像と市民ができること

【医療】

<将来像>

- 借金の少ないまちにして欲しい
- 加東市民病院を総合病院にし、毎年黒字が出る病院にしたい
- 医療の充実（市民病院の医師・診療科が増える）
- 総合病院の建設をして欲しい

<市民ができること、やるべきこと>

- 加東市民病院を利用する

【高齢】

<将来像>

- まちかど体操教室を永久に続け、65歳以上
の高齢者が全員参加するような市にしたい
- 老健施設が多いまちになって欲しい
- 元気でイキイキとした高齢者が多いまち
- 高齢者が住みやすいまち
- 高齢者大学の活動が加東市民に役立つよう
にノウハウ・技術教育等を活かしていきたい

<市民ができること、やるべきこと>

- まちかど体操教室に参加



B グループ

「文化」等の将来像と市民ができること

<将来像>

【健康スポーツ】

- 若者が自然の中でスポーツ（ボルダリングなど）ができる新たな拠点
→バンジージャンプ（自然を売りにして）
- 健康維持のためのスポーツ施設が充実したまち
- 自転車が安心して走れるまち
→（誰でも簡単な）健康の維持の機会

【移動（活動にも移動が必要、移動できれば活動も活発に）】

- バスが絶え間なく循環しているまち
→自転車専用道、国道、通学路の位置づけを明確に
- スクールバス、コミュニティバス等の利用により快適に過ごせるまち
- 市内全域にバスの運行を

【異文化交流】

- 異文化交流ができ、心豊かな人間形成ができるまち
→大学や工業団地など外国人居住者との交流

【教育】

- きめ細やかな教育（少人数）
→みんなにちゃんと目配りできる（いじめ問題、不登校、家庭問題に対して）
- 全ての子どもが教育現場で居心地が良いと思えるまち
- 歴史が語り継がれるまち

【集】

- 集える場所への移動手段（参加手段）
- 高齢者が身近に集える文化
- 高齢になっても活き活きと過ごせるまち
- 高齢者が憩えるまち
→図書館など歓談の場（歩いて集まる）
→生涯学習とか誰でも集える場（囲碁、ゲームなど）

【学生、学園都市】

- 新しく来た人が加東市を好きになるまち
→学生が地域を知る機会づくり
→加東市のパンフコーナーを大学に設置
→大学生の口コミネットワークの活用
→加東市のオリエンテーリング（大学生向け）

<市民ができること、やるべきこと>

- 加東市 PR 隊の結成
- 兵庫教育大学の学生さんとの交流
- イベント企画ボランティア
- 大学生に加東市の魅力を伝える窓口
- 加東市の良い所を大学生に聞く
- 学生によるまちづくり（参加、つなぎ）
- 三草山等の隠れた歴史を調べ出す
- ハイキング道開拓のボランティア
- 地域や市のイベントに参加する（声かけ）

【市民交流】

- 市民全員が参加できる文化
→夏は花火大会や盆踊り（今は地域ごとに分断されている）
→地域に身近で市民全員に開かれているイベントなど
→子どもが動くと親・おじいちゃん、おばあちゃんもついてくる
- いきいきと活動できるまち
→お祭りで手づくり商品の販売
- いろいろな世代が関わることができるまち
→子どもと学生、年長者と学生などの趣味の集い（料理とか）

「安心」等の将来像と市民ができること

〈将来像〉

【安心全体のビジョン】

- 10年長生きできるまち（医療や自然・生活環境）
→自然は心を豊かにする（歩き回るきっかけにも）
 - 人と人との繋がり（絆）が強いまち

【子ども子育て】

- 子どもが遊ぶ場所が多いまち
→神社など気軽に遊べる場
 - 子育てとサークル等の充実したまち
 - 保育士、介護士の安定した就業
→給料をちゃんと支払う

【高齡者】

- 高齢者の体力づくり（まちかど体操教室等）
→市全域に広げよう

【健康】

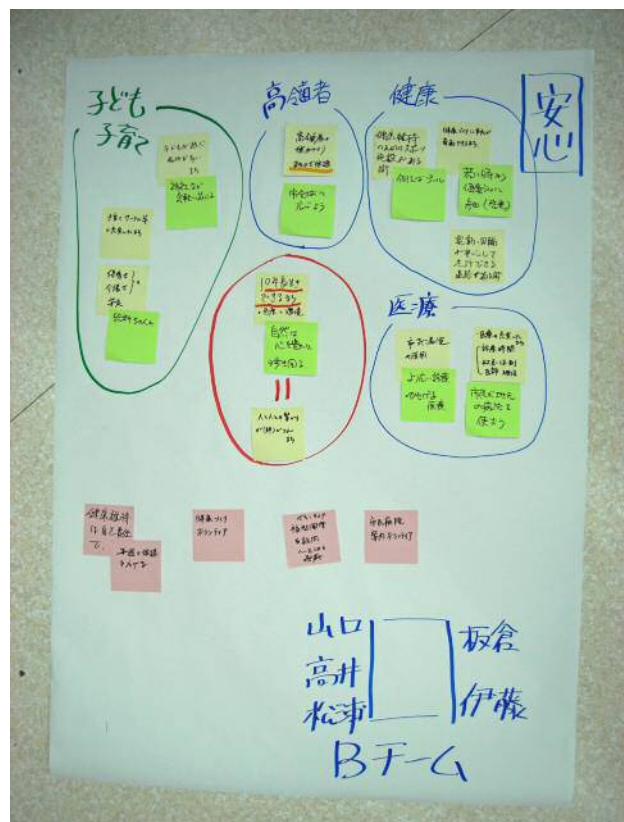
- 健康維持のためのスポーツ施設があるまち
→例えばプール
 - 健康づくりに市民が参画できるまち
→若いときから健康づくりに参加（啓発）
 - 電動機付自転車や四輪車が安心して走行できる道路があるまち

【医療】

- 加東市民病院の活用
→より広い診療科目、稼げる医療
 - 医療の充実したまち（診療時間、救急体制、医師確保）
→市民が地元の病院を使おう

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 健康維持は自己責任で
 - 毎週の体操を広げる
 - 健康づくりボランティア
 - ボランティアで福祉関係を訪問（ハーモニカと歌
声で慰問）
 - 市民病院案内ボランティア



◆次回(第2回分野別ワークショップ:「安全」「快適」分野)の予定

日時：平成29年1月14日(土)9:30～

場所：加東市社公民館 2階 研修室

内容：「安全」「快適」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について

発行：まちづくり市民ワークショップ事務局（加東市協働部企画協働課）

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp